

複雑性悲嘆

- ▶ 死別から数年しても、個人に対する思慕の情が非常に強かったり、罪悪感に悩まされていたり、喪失そのものを否認する状態。→通常の悲嘆のプロセスが流れていかない状況。トラウマのみならず、アタッチメントの問題が関連する
- ▶ 【Shearら、2006:複雑性悲嘆の簡易スクリーニング項目】
 - ▶ ①死を受容することを難しく感じる
 - ▶ ②悲嘆が人生を妨げている
 - ▶ ③個人についてのイメージや思考に悩まされる
 - ▶ ④個人に関連することを避ける
 - ▶ ⑤他人から切り離され孤立した感覚がある
- ▶ 現在国立精神・神経センターの中島聡美医師らが、Shearらによる複雑性悲嘆に対する認知行動療法の日本版を開発施行中